

施策番号	2004						
施策名	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用						
概要	地下鉄を市民生活やまちづくりに積極的に活用するため、市バスをはじめとした他の公共交通機関とのネットワークの強化、駅ナカビジネスの充実など、その魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と沿線地域の活性化を推進する。						
担当局・部室	交通局・企画総務部		共管局・部室				
上位政策	20 歩くまち						
施策に関係する主な分野別計画等	京都市高速鉄道事業経営健全化計画						

### 施策の評価

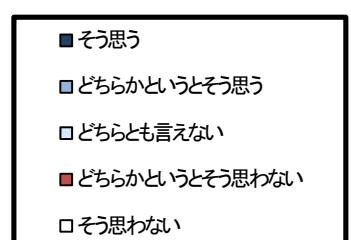
#### 1 客観指標評価

指標名	23年度	24年度	25年度評価						指標の ウエイト
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価		
1 地下鉄の旅客数(千人)	b	a	334	339	329	103.0%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-		
3 -	-	-	-	-	-	-	-		
4 -	-	-	-	-	-	-	-		
5 -	-	-	-	-	-	-	-		
6 -	-	-	-	-	-	-	-		
	b	a	客観指標総合評価				a		

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	25年度回答						
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	250	212	56	19	19	556	a
	45.0%	38.1%	10.1%	3.4%	3.4%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
	市民生活実感調査総合評価						a



### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						24年度	A	
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a				
(重み付けの理由) 本市のまちづくりをはじめ、あらゆる政策を総動員して実現を目指す1日5万人の増客は、将来にわたる地下鉄事業の安定的運営に向けた健全化策の最大の柱であり、客観指標による評価を重視する。									
(原因分析) ・客観指標評価については、京都市地下鉄5万人増客推進本部において、全庁を挙げて増客の取組を推進したこと、また、シンデレラクロス・夜間時間帯の増便による利便性向上策が浸透してきたことや、「コトチカ京都」の開業をはじめとする駅ナカビジネスを拡大したこと、さらに、平成24年度は、京都市公営交通100周年という機会を捉え、記念事業を積極的に展開したことなどにより、お客様の数が順調に推移し、目標を大きく上回った。 ・市民生活実感評価については、「そう思う」という最高評価が45%を占めたほか、全体的に評価が高かった。ダイヤ改正や駅ナカビジネスの推進など、利便性向上に取り組んできた結果、市民生活を支える重要な公共交通機関として、地下鉄の一層の活用が図られていることによるものと考えられる。									

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	京都市高速鉄道事業	64,104,906	64,755,865	—	交通局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- ・積極的な駅ナカビジネスの展開や、沿線の大学やホテルをはじめ区役所や地域と連携した増客策の実施などにより地下鉄の魅力を高めるとともに、地下鉄を基軸としたまちづくりを進め、公共交通優先の社会への転換を推進する。

施策名	2004	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用																		
指標名	地下鉄の旅客数（千人）																			
担当課	総務課		連絡先	863-5094																
1 指標の説明	地下鉄の1日当たりの旅客数																			
2 指標の意味	ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の発展に資する地下鉄1日5万人増客に向けた取組状況を示す指標		3 算出方法・出典等	算出方法：旅客収入から算出した1日平均旅客数 出典：事業担当課調べ																
4 数値	前回数値 23年度 数値	最新数値 24年度 339	推移 5千人増	目標値 根拠 京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数見込み 103.0%																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">中長期目標</th> </tr> <tr> <th>全国順位</th> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>375千人</td> <td>30年</td> <td>90.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数增加見込み</td></tr> </tbody> </table>				中長期目標				全国順位	数値	目標年次	達成度	数値	375千人	30年	90.4%	京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数增加見込み				備考
中長期目標																				
全国順位	数値	目標年次	達成度																	
数値	375千人	30年	90.4%																	
京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数增加見込み																				
5 評価基準	1日当たりの旅客数が a : 332千人以上 b : 330千人以上331千人以下 c : 329千人 d : 327千人以上328千人以下 e : 326千人以下		6 基準説明	京都市高速鉄道事業経営健全化計画における各年度の旅客数の見込みについて、達成をcとし、2千人の増減の範囲をbまたはd、それらを上回る（下回る）増減をa（e）とした。																
7 評価結果	23  b	24  a	25  a																	